

## (2) 第59回徳島県小学校水泳能力検定会

### ① 目的

県下の地域性及び実情を考え、小学校児童に基礎泳力をつけることは大いに必要なことである。それには各自の能力錬成への努力はもちろん、視野を広くして他人の泳力・泳法をも鑑賞することが大切である。このために、各小学校の標準記録に達した児童を集めて中央検定会を実施して一層の能力向上をめざすとともに、県下小学校児童の泳法に対する認識を深める。

② 期 日 令和5年8月1日(火)9時30分～16時 ※予備日8月8日(火)

③ 会 場 むつみスイミング

④ 主 催 徳島県教育委員会、徳島県小学校体育連盟

⑤ 後 援 徳島県水泳連盟、徳島新聞社

⑥ 対 象 小学校5・6年生児童

⑦ 参加資格 徳島県小学校水泳能力検定会標準記録3級以上の合格者で、学校長が出場を認めた児童であることとする。

リレーはその校単独でリレーチームを編成できない場合、一定の条件を満たしていれば、複数校による連合チームを編成して参加することができる。

⑧ 検定種目 自由形、平泳ぎ、背泳ぎの各50m、200mリレー

⑨ 日 程

8:00 役員集合

8:15 役員打ち合わせ

～第一部～

8:40 選手アップ開始

9:00 選手アップ終了

9:10 検定上の注意、選手招集開始

9:25 検定開始 自由形

10:55 背泳ぎ

11:10 平泳ぎ

11:20 200mリレー

11:50 休憩

～第二部～

12:30 選手アップ開始

12:50 選手アップ終了

13:00 検定上の注意、選手招集開始

13:15 検定開始 自由形

14:45 背泳ぎ

15:00 平泳ぎ

15:10 200mリレー

※ 開閉会式は行わない。

※ 表彰は行わない。

※ 郡市単位で人数を調整し、2部制とする。

※ 検定開始時刻は遅れることはあっても、繰り上げることはない。

※ 参加児童の駐車場は、むつみスイミング、加茂名小学校とする。

※ 保護者及び参加児童は観客席で待機し、召集時間に合わせて指定の場所に集まる。

⑩ 泳法上の注意 平泳ぎについてはかえるあし、タッチの不正確な者は失格となるので、その点十分指導しておくこと。

⑪ 計 時 手動計時(ストップウォッチ)で行う。

⑫ 表 彰 検定の結果、徳島県小学校水泳能力検定会標準記録に達した者に、検定証を授与する。なお、今年度も十傑表彰はなしとする。

⑬ 参加申込 参加校は所定の申込用紙に必要事項を記入の上、各郡市理事を通じて7月27日(木)までに、〒779-0111 板野郡板野町那東字泉ノ西5番地 板野西小学校種浦 武 宛申し込むこと。

※ プログラム作成、印刷等の準備があるため、締め切りを厳守すること。なお、期限後の申込は受け付けない。

⑭ 水着、水泳帽について

学校の授業で使用しているもので、記録会に出場するにあたり学校長が認めたものとする。

スイミングスクールのロゴが入った水着や水泳帽の使用を禁止する。またシリコンキャップの使用も原則禁止する。

- ・ 身体的な症状等の理由でシリコンキャップを使用する場合、大会前日までに該当校校長→各郡市評議員→県小体連会長の流れで承諾を得ること。
- ・ 水着や水泳帽についての違反があった場合は失格とする。失格となった場合、競技には参加できるが参考記録とする。

⑮ 水中スタートについて

水中では静かに待つ。(基本静止)

スタートの合図で、壁面を両足でけてスタートする。

- ・ 体を安定させるために、両手あるいは片手でスタート台のバーを持ったり、足を壁面につけたりしてもよい。

〈スタートの要領〉

- ア 水中からのスタートのみとする。
  - イ 前の組がスタートしたら、イスに座りゴーグルをつけコールを待つ。
  - ウ 名前をコールされたらその場で起立し、右手を挙手する。その後、席に着く。
  - エ 全員のコールが終わったら、笛の合図『ピー』で選手は速やかにプールに入る。
  - オ 笛の合図『ピ・ピー』で、選手は静かに待つ。(基本静止)
  - カ 「用意」の後に鳴るスタートの合図で、壁面を両足でけてスタートする。
  - キ 1人が2回フライングした場合(1番最初に動作を起こした時)は、失格とする。
- 失格となった場合、競技には参加できるが、参考記録とする。

〈フライングと見なされる場合〉

- ・ 静かに待った状態(基本静止)からスタートの発射音を聞くまでスタート動作を開始してはならない。もし発射音より泳者が明らかに早く動作を開始したとスターターあるいはリコーダーが判断したときはフライングとする。
- ・ 両足でなく片足で壁面をけったり、壁面をけらず底をけてスタートしたりしたことを監察係が判断した場合もフライングとする。

⑩ リレー引き継ぎについて

次の泳者が両足でけてスタートするタイミングは、前の泳者が壁面をタッチした時と同時かタッチ以降とする。

- ・ 前の泳者がタッチをする前に、次の泳者はスタートの動作を開始してもよい。

⑪ 徳島県小学校水泳能力検定会標準記録 (50 m)

(昭和62年自由形一部改定・平成3年度女子平泳ぎ、200 mリレー改定及び各種目4級付加)

種目別	1 級		2 級		3 級		4 級	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
自由形	40.00	41.00	43.00	44.00	46.00	47.00	52.00	53.00
平泳ぎ	48.00	49.00	51.00	52.00	56.00	57.00	1:01.00	1:02.00
背泳ぎ	50.00	55.00	53.00	58.00	58.00	1:03.00	1:03.00	1:08.00
200 mリレー	2:40.00	2:45.00	2:50.00	2:55.00	2:55.00	3:00.00	3:05.00	3:10.00

※ 県大会参加は3級以上の者

⑫ 第64回徳島県小学校水泳能力検定地方大会

- ア 主催 各市町村教育委員会、各市町村小学校体育連盟
- イ 対象 小学校5・6年生児童
- ウ 出場資格 学校長が出場を認めたものであること。
- エ 参加方法 各校の自由参加とする。
- オ 泳法上の参考資料

○ 平泳ぎ

スタートして1かき1けりし、1けりの前に1回のドルフィンキックを入れてもよい。水面から体の一部が出た後で、一連の動作を始める。一連の動作のうち、1回は頭を上げ呼吸する。キックはかえるあし。タッチは両手同時に左右平行に行わなければならない。

○ 背泳ぎ

「用意」の時、つま先が水面より出てもよい。特に、最後のタッチの時、90度以上体が横にならないようにすること。

⑬ その他

- ア 地方大会については、本部よりの検定証は交付しない。
- イ 種目及び標準記録については、水泳能力検定標準記録等を参考にされたい。
- ウ 個人の能力のみでなく、泳法上の留意点やマナーについて指導のこと。